

FIDIC News September 2011

訳責:国際活動委員会 CB 分科会

脚注:この抄訳は若手メンバーの翻訳を分科会で監修したものです。

A. 活動(FIDIC -Activities)

A.1 世界銀行向け FIDIC 新教育プログラム(New FIDIC Training programme for the World Bank)

世界銀行は、ネパールで成長しつつある水力発電部門を援助している。

FIDIC の契約約款は、ネパールの建設産業で徐々に利用されつつある。世界銀行は、一般企業または公共の企業や雇用者、コンサルタントまたは請負人の代表者が FIDIC の契約約款に基づいて仕事をする際、技術者やマネージャーの技術の向上や信用を高める手助けのために、この契約約款を実質的に利用したトレーニングコースを設立することを、FIDIC に依頼した。

このトレーニングの目的は、Red Book 1999 を実践的に利用できるように、よく理解してもらうことであり、9 月にネパールで開催される予定である。



A.2 FIDIC 契約約款ユーザーズ会議(FIDIC Users Conference Popular)

今年の 7 月 5 日と 6 日にシンガポール主催のアジア FIDIC 契約約款ユーザーズ会議が開催された。技術者や法律家およそ 80 人が出席した。参加者のほとんどがシンガポールやインドネシア、マレーシアからであったが、ベトナムやオーストラリアからも少人数が参加した。会議は、大成功を収め、代表者からの意見も非常に実用的なものであった。フロアからの質問や興味深い討論に、多くの時間が割かれた。

次の FIDIC 契約約款ユーザーズ会議は、すでに公示されており、12 月 6 日、7 日にロンドンで開催される。詳細は、FIDIC のウェブサイトを確認できる。

A.3 FIDIC 2011 ダボス大会(FIDIC World Consulting Engineering Conference Davos 2011)

ダボス大会の参加者を待ち構えているのは、豊富な内容のプログラムである。世界中から招聘される講演者は、自らの経験を参加者や招待客と共有する。開催地や日程の変更があつたにもかかわらず、業界にとって主要なこの大会に 60 ヶ国から 500 人を超える代表者が集まると見込まれている。主催者は、アフリカに関するプログラムを、グランバウンデン州スイスアルプス地域へと移した。チュニジアとスイス両国の協会のサポートにより、大会参加者はお互いの交流を通してビジネスチャンスを共有できるようになる。初日、北アフリカの変動的な状況や、それがインフラ開発に対して与える影響に関して、詳細な討論が行われる。各地域からの講演者は特別な公開討論の場で、このような開発に対する彼らの経験と見解を共有する。初日のセミナー後半では、変化する市場の要求に順応するために、企業のビジネスニーズの発展だけでなく、調達や財政管理、統制問題における優れた取り組みについて検討する。顧客や請負者、コンサルタント、銀行から招聘された講演者はこのような横断的問題に対するそれぞれの見解を共有することになるであろう。



アフリカ全体における能力開発が 2 日目のメインテーマであり、直接関わっている数多くの講演者により公開討論が催される。アフリカ専門家の Baroness Lynda Chalker 氏と南アフリカ共和国大臣の Trevor Manuel 氏が司会進行役を務め、アフリカ大陸におけるビジネスチャンスを探る。また、2 日目の見どころは、将来の業界の

アフリカ全体における能力開発が 2 日目のメインテーマであり、直接関わっている数多くの講演者により公開討論が催される。アフリカ専門家の Baroness Lynda Chalker 氏と南アフリカ共和国大臣の Trevor Manuel 氏が司会進行役を務め、アフリカ大陸におけるビジネスチャンスを探る。また、2 日目の見どころは、将来の業界の

リーダーとして、顧客や社会から要求される課題に直面している若い技術者からの発言である。

3日目は、この先何年にも渡って継続的に質の高いサービスを提供するために、CE 業界や協会は何をすべきか、ということを考えながら、業界の未来まで一気に話題は飛躍する。世界中から集まった講演者たちは、コンサルティング・エンジニア産業にとって重要なこの議論に全ての知識と経験を注ぐだろう。プログラムや懇親行事に関する詳細は、FIDIC のウェブサイト、以下の URL で閲覧できる。www.fidic2011.org

A4 新たなトレーニングプログラムの開始(New National Training Programme Launched)

去る 2011 年 7 月に、韓国協会 KENCA と FIDIC との間で、韓国の技術者育成に関するトレーニングプログラムを具体化するための、意欲的なプログラムが開始された。各々 4 日間の、5 つの月例ワークショップに分けられたプログラムは、FIDIC 国際トレーニングプログラム(商習慣、調達、契約および協定の



各要素を含む)全体を包括する。トレーニングプログラムの第一段階は、FIDIC が国際的に公認したトレーナーによって、そして次の段階からは、これらのコースによって開発された韓国人トレーナーによって展開される。第一段階での成功は、また、国際トレーニングプログラムを他国に展開するきっかけとなる。この創設されたプログラムの次の恩恵を受けるのは中国である。今年後半に開始が計画されている FIDIC トレーニングプログラムのために、適切なトレーナーの事前評価が既に始まっており、彼らが選任されることになるであろう。コースの言語は英語で、トレーニングモジュールを用いて実施される。FIDIC の資料は、トレーニングを普及しやすくするために、中国語に翻訳されている。

A5 西歐に視線を向けるロシア(Russia Looks West:)

ロシア連邦政府の議長代理 Dmitry N Kozak 氏を長とする政府の会議が 2011 年 4 月 21 日に開催された。この会議の成果の一つとして、Kozak 氏は、ロシアの建設産業における全国的な協会のすべてに対して、FIDIC の知見に関する詳細な調査に着手し、それに基づいて、ロシアの市場で FIDIC の知見を適用する手法について推奨するよう指示した。この結果として、FIDIC は、ロシアの全国建築協会が主催する、9 月 21 ~ 23 日にロンドンで開催される特別セミナーへの参加を要請された。ロシア市場に関する情報提供を受けて、FIDIC の講演者らは、FIDIC 契約約款の使用に関して説明を行う予定である。参加希望者は、FIDIC 事務局への連絡が必要である。

A6 ワルシャワ地域会議の発展(Regional Warsaw Conference under Development)

中央ヨーロッパ、バルト諸国全域にわたる FIDIC 契約約款の需要拡大と利用を促進させるため、FIDIC は昨今、ワルシャワのポーランド商工会議所において仲裁裁判所との協定に署名した。この協定は、Regional FIDIC Users 会議の設立を



見据えたものであり、2012 年 4 月にワルシャワで初めて開催された。FIDIC はこの協定を通じて利用可能なサポートネットワークを歓迎する。そして、このことは地元協会との協力を促進することにも繋がる。このプログラムを地域内で順次開催することで、新たな地域・地方加入の機会を増やすことを目的としている。この先導的な活動は、FIDIC の教育プログラムを通じて既に利用可能なサービスをさらに普及させるものである。

B. 事業展開 (Business-Development)

B.1 欧州における専門的調達の見直し (Europe re-examines Professional Procurement)

過去にも幾度となく行われた専門的調達サービスに関する課題が、商品およびサービスについての議論が混和し、将来の見通しに陰りを見せている。この問題に対する見直しを得るため、EFCA (The European Federation of Consulting Engineering Association: ヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合) は欧州委員会と協議を行い、コンサルティング・エンジニアの提供する専門的サービスおよび知的サービスに関する定義を試みている。これらのサービス自体は、商品および建設サービスの調達実施に通常用いられる基準に支配されるものではない。議論が円滑に進んだ場合、エンジニアリング・サービスにおける主要な方法としてQBS (Quality Based Selection: 品質・技術による選定) の活用が容易になる。国際的な代表および調達経験として、FIDICは求められる資源を提供する事でこの新たな取り組みを応援し、また議論参画の申し入れを受けている。

B2 災害管理の新ガイド構築中 (New Guide on Disaster Management Planned)

FIDIC会員は今日までに、多岐に渡る天災と人災両方の被害を経験した国々にて、多様な役割を遂行してきた。残念な事ではあるが、地域計画、法整備、災害に対する準備を改善することによって、これらの悲劇は多くの場合、緩和または大幅に対応が向上させることができた。FIDICは、技術業務の設計及び施工においてより堅固な解決策の提案、並びに災害時に対応する関係当局への支援によって技術者が果たせる重大な役割を認識している。また、これらの支援には、緊急事態マネジメント、評価、改築、復興だけでなく、新しいインフラに対する事前計画が含まれる。ガイドでは、災害管理



特有の責任問題の管理方法も提案されている。FIDICは、近年における日本、チリ、アメリカ、パキスタン、インドネシア、ニュージーランド、ハイチ、オーストラリアといった国々で体験した幅広い経験を生かした国際エキスパートの特別チームを編成している。このチームは、コンサルティング・エンジニアとして果たせる重大な役割についてのガイドラインを作成している。FIDIC作業部会では、特定の専門家を指名しているものの、この活動への参画を希望する場合はFIDICにて相談も受付けている。

B3 FIDIC と UN の連携強化 (FIDIC-UN Connections Strong)

国際的な知名度を高めるための施策の一環として、FIDICは数々の国際機関との緊密な連携を維持しており、その中には国連機関も含まれる。公認NGOであるFIDICは、UNIDO (国連工業開発機関)、UNCITRAL (国連国際商取引法委員会)、UNCAC (国連腐敗防止条約)、UNEP (国連環境計画) 等の国際機関のコンサルタントとしての役割も果たしている。また、UNESCO (国連教育科学文化機関)、UN Habitat (国連人間居住計画) との連携も図っている。UNCITRALの規則については、UNCITRAL加盟コンサルティングファームが海外でのインフラプロジェクトを行うことから、エンジニア分野のコン



サルティングにおいてしばしば言及される。以前のニュース記事によると、このUNCITRALを通してFIDICは国際的な調達の向上に関与してきた。FIDICは更に、ビジネス公正管理システムに寄与し、またこれについてのUNCACでのセッションにおいてプレゼンテーションを行った。次回の2011年11月のモロッコでのUNCAC会議にも出席予定である。UNEPについても、持続可能性の構築や気候変動に関する国際的な議論において重要な

役割を果たしており、よってFIDICにとって以前と変わらず重要な機関である。FIDIC、UNEP双方とも、地方政府や建築研究組織、国際労働組織等と並んで、持続可能な建築アライアンスに加盟している。

B4 裁定サービスの拡大 (Adjudication Services Expand)

Adjudicator (紛争裁定人)FIDIC President リストは、顧客や請負人、コンサルタントなどに幅広く使用されている。この既存リストを補うために、FIDICモデルに基づいた国別リストの開発支援を行っている。フランスはFIDICガイドラインに基づいた国別リストを編集しており、2011年末には最初の公式リストが完成する。これは日本で成功に終わった同様のプログラムに続くものである。

国際的なプロジェクトと同様に、自国の建設業界を支援する裁定サービスを提供することができる国はFIDICサイトwww1.fidic.orgに掲載されている。

[AJCE事務局より]AJCEでも2010年5月より「AJCE アジュディケーターリスト」の運用を開始いたしました。ホームページで日本人Adjudicator (紛争裁定人)リストを公表しております。http://www.ajce.or.jp/en/index.htm

B5 持続可能な開発のためのログブックを構築 (Sustainable Development Logbook Planned)

フランスにおけるFIDICの加盟協会であるSYNTECは、フランスでの試験的な導入を経て、プロジェクトに関する報告、及び持続可能な開発に関して認められた基準に基づいたログブックを蓄積しており、共有のデジタルプラットフォーム開発を先導している。建築家協会によっても支援されているこの開発は、インフラプロジェクトを社会やコミュニティの期待に沿わせるための、野心的かつ簡便なツールとなる。FIDICは、EFCAと協力し、この開発の国際社会での発展を支援する。紙媒体での資料はFIDICの書店にて購入可能となる予定である。



C. 契約約款 (Business-Contracts)

C.1 FIDIC 契約約款ポルトガル語版の発表 (Portuguese FIDIC Contract Launch)

FIDIC/ICC 年次総会が 2011 年 6 月 16 ~ 17 日、サンパウロで開催された。取り扱われた主要議題は「国際建設契約約款および紛争の解決」であった。その内容は南アメリカ、特にブラジルにおける FIDIC の紛争裁定(および DAB) のマネジメントに関し、裁判地を論理的に選定することであった。FIDIC 出版物の多さに象徴されるように、エンジニアと弁護士の両者が国際的な実務の速度に達しようと努力しており、世界のこの地域での FIDIC 契約約款一般条項に対する興味は増大している。先例のないインフラの開発が起きているブラジルでは、出来立てのポルトガル語版 Red Book 1999 の発表が FIDIC の現地使用を支援するのに大歓迎を受けた。この発表は 6 月にリスボン(ポルトガル)で開催された同様のセミナーイベントにも反映された。FIDIC は、現地語でマネジメントされるプロジェクトの助けとなる評判の良い契約約款の翻訳を展開し続けている。ポルトガルの FIDIC 会員協会 (APPC) は、最近、ラテンアメリカ地域の結束を強固にし、インフラプロジェクトの共同作業の機会を探るために中南米コンサルティングエンジニア連盟 (FEPAC) に加盟した。Red Book 1999 の新しいポルトガル語版を FIDIC の書店で入手して下さい。



C.2 DBO Contract Guide の発表 (DBO Contract Guide Launched)

FIDIC 設計・施工・運営一括発注(契約)方式(DBO)の契約のための新しいガイドは現在、FIDIC の書店で入手可能であり、大変好評である。このガイドの目的は、ユーザーに解説を提供することである。その解説は起草委員会により作成されたものであり、文書を作成した際の彼らの考えや意図が述べられている。この文書は、FIDIC に認定されたトレーナーにとって一層の支援になるだけでなく、ユーザーにとっても DBO 契約に関するより効果的かつ効率的な道案内役となるであろう。



DBO Contract Guide 2011
[AJCE コード CO-24-G]

[AJCE事務局より] DBO Gold BookガイドはAJCEでも購入できます。詳しくはお電話でお問い合わせください。03-3839-8471



DBO Gold Book 2008
[AJCE コード CO-24]

C.3 作業中の書籍 (Documents under production)

現在作業中の多くの新たな書籍が FIDIC ダボス大会および年末までの数か月のうちに入手可能になる予定である。作業中は次のとおり。建設下請契約書初版、FIDIC 契約約款の様々な新訳、今もなお多くの国々で使用されている旧 FIDIC 契約約款の再版、更に、待望のプロジェクト調達ガイド(調達サイクルの全側面を扱うもの)、およびコンサルタント選定に関する最新の QBS ガイド(これは世界中のコンサルタントが直面している主要問題のひとつであり、選定過程でサービスの品質を評価し選定する手法。)。

FIDIC 展開の一つとして、さらに 2 種類の契約約款の訳が現在セルビアとモンゴルのプロジェクトに対して許可されており、アクセスが認められている。FIDIC/ICC 年次総会が 2011 年 6 月 16 ~ 17 日、サンパウロで開催された。

D. 協会活動 (Industry-Representation)

D.1 アフリカの景気回復に注目 (Africa Focus Boosted)

FIDIC の戦略上重要なアフリカは、タンザニア地方事務所の開設により活動が促進されている。FIDIC のアフリカ地域グループ GAMA は、アフリカ地域の会員の特別なニーズ、運営上のサポートや、地域の利用可能な人的資源に関する指針の作成、能力開発プログラムのようなコンサルタントにとって重要な課題について、サービスを提供している。FIDIC は、トレーニングプログラムや、知識や経験をシェアする機会を提供するため国際的なネットワークイベントを支援している。10 月に開催される FIDIC ダボス大会は、アフリカに注目が集まり、地域発展や景気回復の相互影響等の情報が取り交わされることであろう。次の GAMA 会議は、来年早々にザンビアで開催される予定。



D.2 FIDIC 継続的な拡大 (FIDIC Expansion Continues)

FIDIC では現在、FIDIC の持続的な拡大と、モザンビークとパレスチナからの会員申請が検討されている。湾岸地域、アフリカ地域を重点国として、2013 年までに世界で 100 の国と地域を会員とすることを目標(現在 86)とする。さらに、南米地域への関心も高める。この目標達成により、FIDIC は 2013 年の 100 周年記念時に、グローバルコンサルティングエンジニアのかなりの範囲を網羅するだろう。2009 年と 2010 年は世界的な経済活動の低迷にもかかわらず、自然環境のプロフェッショナルサービスに対する世界的な需要に応じて、CE 業界は成

長を続けている。最新の推計では、世界中のインフラに年間 6 兆ドル投資されており、エンジニアが提供するプロフェッショナルサービスの対価として、6 万のコンサルティング企業が年間 400 億ドル超を売上げている。

D.3 インドネシア 政府が支える業界の再定義 (Indonesia Government supports Industry Re-definition)

7 月、ジャカルタで FIDIC 契約約款セミナーが開催され大盛況だった。このセミナーでは政府関係者とインドネシア CE 協会大手の 2 団体の代表者が出席して議論を交わした。関係者は CE 業界の代表を統一することが重要と認識し、インドネシア政府は協会の統一を支援することを表明した。大手 2 団体の合併がすぐに実現できない場合は傘型連合も選択肢の一つとして挙げられる。インドネシア政府は FIDIC 契約約款の強力な支持者であり、国際融資機関が出資するプロジェクトに強い関心を持っている。

傘型連合の取扱については、2011 年 FIDIC ダボス大会の総会で FIDIC 会長から提起されるだろう。

E. イメージ (Industry-Image)

E1 FIDIC100 周年記念賞の発表 (FIDIC Centenary Awards Announced)

2013 年バルセロナ大会の 100 周年記念祝賀式典において、FIDIC100 周年を祝うと同時に、コンサルティングエンジニアの社会への貢献を称え、過去 100 年間における最高のコンサルティングエンジニアを表彰する。

賞の主なカテゴリは次のとおり。

- a) 過去 100 年間の主要な建築プロジェクト
- b) 過去 100 年間の主要な土木プロジェクト
- c) 過去 100 年間の主要なコンサルティング・エンジニア

賞のノミネートは、協会会員によって行われる。選出されるプロジェクトは、会員会社によってデザインされている必要があり、国際的に認められているか、優秀な技術であるか、革新的か、持続性および持続可能性があるかなど、多くの基準で審査される。詳細は、FIDIC ダボス大会で明らかになる。

F. 公正管理 (Principles- Integrity)

F.1 世界銀行からの指名停止の解除 (World Bank lifts debarment)

Lahmeyer インターナショナル社は、世界銀行が出資するプロジェクトに再び参加するための適正な資格を得た。この資格の発効は 2011 年 8 月 11 日で、世界銀行は、本来 7 年間の指名停止期間を 2 年以上も前倒しをして当社の指名停止を解除した。なぜなら当社が模範的な態度をもって世界銀行の要求に対応したからだ。世界銀行が、企業の指名停止期間を短縮して解除したのは初めてのことで



である。早期解除の決定要因は、Lahmeyer 社が総合的なコンプライアンス指針を開発し、導入したことだ。これは世界のコンサルティングエンジニア企業・組織がまずやるべき事の一つである。企業の公正管理システムは、品質管理システムと組み合わせて、契約・調達プロセスやプロジェクト実施の透明性を確保するものである。公正管理システムは、過去数年において複数の独立機関により繰り返し研究がなされ、欧州復興開発銀行を含めた多くの国際融資機関に適用されてきた。

FIDIC はこの開発を称賛する。そして、この開発が、コンプライアンス問題に配慮する業界のためにも FIDIC 公正管理委員会が進める公正管理システム確立の作業促進の手助けとなることを期待している。

FIDIC の新公正管理システム (FIMS) -パート1-では、賄賂や汚職の可能性に曝されている事業を実施する際に直面するリスクを管理または軽減するため、それぞれの事業に適応する透明性のある管理システムの投

資対効果を提示している。この重要な議題についてはダボスでの FIDIC 大会、さらにその後のルクセンブルグで開かれる国際融資機関による特別会議においてもさらに議論されるであろう。

G. 持続性 (Principles - Sustainability)

G.1 金融機関が目指す一貫性のある気候変動への取り組み (Banks aim to harmonise approaches to climate change)

世界銀行など主要な国際開発金融機関は、プロジェクト遂行のため、気候変動に関する検討事項をモニタリングする部署を設けている。公共事業への投資判断における経済的、環境的、そして社会的な懸念事項に対する総合的な取り組みについて、金融機関の間で議論が行われていることが FIDIC ワシントン DC 会議で示されたが、デュー・デリジェンスに関し、一貫したアプローチがとられてこなかったということは、おそらく残念なことなのだろう。FIDIC は、金融機関が気候変動の緩和とデュー・デリジェンスを模索するための持続性指針の開発支援を要請されている。いくつかの金融機関は、気候変動に起因する損失の削減を目標に掲げている。しかし、彼らの行っているカーボントレーディングやグリーン調達といった問題への取り組みは、一貫性に欠けていることがある。目下改訂中の FIDIC プロジェクトサステナビリティマネジメントガイドは、コンサルティングエンジニアがすぐに取り組むことになるだろう問題に焦点を当てている。このガイドは、サステナビリティの指針における議論の構築に役立つだろう。なぜなら、それは、プロジェクトの計画と実施に大いに影響されうる側面に焦点を当てているからである。



H 行事 (Announcements-Events)

H.1 理事会からのお知らせ (News from the Executive)

FIDIC 理事 3 人の欠員を補填するための選挙が告示され、ダボスで開催されている FIDIC 年次大会中に投票が行われる。Adam Thornton 氏 (ニュージーランド) と Patrick Batumbya 氏 (ウガンダ) の両理事は 4 年の任期を全うされ、現会長の Gregs Thomopoulos 氏も FIDIC を代表する 8 年の任期を終えて、引退される。公示に応じて 7 人の候補者が登録されている。FIDIC は彼らの継続的な強い支持と、理事会活動を通じての会員サービスへの関心を歓迎しています。

FIDIC の戦略的な方向性を強化するために、理事会は FIDIC の戦略計画の修正を会員に提案しようとしている。当業界の経済発展や社会福祉の重要性を認識して、より発展的なビジョンやミッションを提案する予定。修正されるミッションは 8 つの項目に集約される。品質、公正性、持続性などのコアとなる原則の大半は修正されずに残されるが、新たに 2 つの項目が追加される。それらは、業界の将来に必要な若手専門職の重要性と、国際的に認知された FIDIC 契約約款の適用によるベスト・プラクティスの重要性である。変更案についての検討は大会直前に開催される。

以上